

## 第 1 回九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事録（要約）

日 時：平成 24 年 7 月 17 日

午後 6 時 30 分～7 時 50 分

場 所：九段小学校・幼稚園 3 階図書室

出欠状況：出席委員 19 名 欠席委員 3 名

事務局：子ども施設課・パンフィックコンサルタンツ

オブザーバー：麴町出張所長・富士見出張所長

事務局：第 1 回九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会を開会いたします。

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。進行役の会長さんが決まるまでの間、事務局のほうで進行させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次世代育成担当部長：昨年 1 年間かけまして学校施設の基礎調査で、主にこの建物のハードの面、建築基準法や消防法などの部分で細かな調査をさせていただきました。大きな課題といたしましては、校舎の歴史的な価値ということと、学校教育をめぐる環境は非常に大きく変わってございます。具体的に申し上げますと、例えば ICT 教育で、小学生でもパソコンの授業があります。あとは ALT 教育というような小学校でも英語の授業があり、今日的な教育課題にどうやって対応するかということも大きな課題となっております。

したがって、この検討協議会におきましても、委員の皆様方のご意見をちょうだいしながら、今後 50 年先の学校教育にとりましてどういう形が望ましいのかということにつきまして議論をさせていただきたいと思っております。

また併せまして、子どもの教育の場が第一でございますが、同時に地域のコミュニティ活動の拠点施設でございます。さらに、昨年 3 月 11 日に大きな地震がございましたが、そういう有事の際に地域の避難場所となる施設でございます。

どうか忌憚のないご意見をちょうだいいたしまして、この校舎を末永く地域の皆様に愛され親しまれるものにしていきたいと思っております。

事務局：続きまして、事務局より今回の協議会の委員の皆様をご紹介します。

（名簿に基づき紹介）

それでは、役員を選任に入ります。「施設整備検討協議会設置要綱」の第 4

条に規定しているとおり、この協議会に会長 1 名、副会長 1 名を置くこととしております。委員の皆様には会長さんを互選いただきたいと存じます。どなたかご意見、ございますでしょうか。

では、僭越ではございますが、事務局よりご提起させていただきたく存じます。ご案内のとおり、九段小学校の通学区域は麴町出張所、富士見出張所にまたがっております。本協議会の委員として、麴町出張所地区連合町会、富士見地区町会連合会から町会長さんにご参画いただいておりますが、九段小学校の所在地でございます三番町町会長の田中会長さんに会長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(拍手)

ご異議がないようですので、田中会長に会長をお務めいただきたいと思えます。

続きまして、副会長を互選いただきたいと存じます。どなたかご意見ございますでしょうか。

では、また事務局より僭越ながらご提起させていただきます。皆様方がお認めいただければ、会長さんにご一任ということでいかがでしょうか。

(拍手)

会 長 : それでは、一任ということでございますので、本日欠席されてはいますが、九段四丁目の池田会長を推薦したいと思います。私は麴町地区ですし、富士見地区の方からお一人、九段四丁目の池田会長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(拍手)

事務局 : では、池田委員に副会長をお務めいただきたく存じます。よろしく願いいたします。

会 長 : ただいまご推薦いただきました三番町町会の田中でございます。このたび九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会の第 1 回目ということで、私が会長をさせていただきます。

皆さんご案内のように、数年前から九段小学校改修を考える会というのを P T A が主体となり、地域の人たちと一緒に話しをしてきましたが、ようやく今回こういう形で一歩前進したのではないかと思います。委員の皆様方にいろいろご意見等をちょうだいしながら、この九段小学校・幼稚園が立派なものになるように皆様方のご支援、ご協力をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局 : それでは、当協議会の検討事項について説明させていただきます。

九段小学校・幼稚園の施設整備につきましては、築 80 年以上が経過し、校舎の老朽化が進んでおります。平成 23 年 2 月に九段小学校・幼稚園の校舎

の改修を考える会より、「校舎の改修に当たっては、保護者、同窓生、および地域住民の要望を十分取り入れて、これを実施していただきたい」旨の要望書をいただきました。区では昨年度、九段小学校・幼稚園について、効率的かつ効果的な整備計画を策定するための学校施設整備計画の基礎調査を行いました。

これらのことを踏まえまして、今年度予算に施設の老朽化に対する改善とともに、地域、保護者、区が一体となって良好な教育環境を整備し、防災拠点や地域コミュニティの核としての役割も考慮しながら、施設整備計画の検討に要する経費を計上いたしました。

当協議会での協議事項は、設置要綱第 3 条に規定しておりますように、九段小学校・幼稚園の整備に関する事となっております。具体的に申しますと、少人数教育や ICT 教育といった教育の今日的な課題に対応し、教育環境の向上を図る必要がある一方で、関東大震災の復興小学校であり、歴史的な価値があると言われる九段小学校・幼稚園の建物をどのようにしていくのか、その整備の内容についてご検討いただきたいと思います。

会 長 : 議題 5 の施設整備における前提条件の整理について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : (資料に基づき説明)

会 長 : 説明いただいたことで、とりあえず思いついたご意見等があればここで聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

委 員 : 説明の中で、コンクリートクラックですか、穴あけは何カ所やったのですか。

事務局 : 地下及び各階に 1 カ所ずつで、専門業者が行いました。

委 員 : 説明の中で、どれができて、どれができないのですか。

事務局 : 防火区画は、扉とかシャッターをつければできます。

避難経路は、部屋のレイアウトを変えていくので、部屋が狭くなったりするので、なかなか難しい。

消火栓は、設備ですので、これはつけられると思います。ただ、消火栓の配管が露出になり、見栄えの問題とかはあるかもしれませんが、つけることは可能です。

階段についても、段差を緩くすることは可能ですが、階段が長くなるとうるか、多少使い勝手上、よくないことが出る可能性があります。

バリアフリーについては、これを解消しようと思うとスロープをつけるしがなく、げた箱を置くスペースや昇降口の 1 階のスペースがほとんどなくなってしまいます。

委 員 : 今言われたのは、かなりの改修をすればできるということですね。

- 事務局 : できるものもあります。
- 委員 : 入口に階段があるということは、下に上げなければならない理由があるわけですね、階段部分に。例えば入り口の高さに合わせてしまうということは、改修することはできる？
- 事務局 : そうすると、2階に上がる階段が長く必要になってしまいます。2階への階段を増やさなければいけないので、影響が出てきてしまいます。
- 委員 : 天井もむき出しになっていますが、天井が低いということですか。
- 事務局 : 廊下は天井を基本的に張っていません。普通の新しい学校だと、廊下に天井を張って、その中に配管が隠れて見えなくなって、ちゃんと高さを取っているのですが、九段小では直づけでやっています。
- 委員 : 元々この小学校は照明が一部の部屋を除いて入っていなかったんです。
- 委員 : 今までの学校はともかく、一番大事なものはプールが外だったり、体育館が狭かったり、それをどうしたらいいかということのほうが大事なんじゃないですか。
- 事務局 : そうですね。プールを中に持って行って、一部だけ建て直すとか、それは検討してみないといけない。
- 委員 : 建てるときのお金というのは1回なのですが、維持は何十年と、相当な維持費がかかります。建てるより維持するほうが、経費が掛かるんですよね。  
それからもう1つは、学校をもし建て直すれば、何階まで建てられるのですか。
- 委員 : 周りに住んでいる人のことも考える必要もあると思う。
- 委員 : 学校の土地は限られていますから、高さ上げるしかないです。例えば千代田のスポーツセンターも昔小学校で、それを直したんですが、キャバがないから、それ以上やろうとすると、やはり高さで行くしかなかったのです。
- 委員 : 高さか地下か、どちらかしかない。
- 委員 : 地下はあまりよくないですね。
- 委員 : 地下がよくないというのは、何がよくないんでしょうか。
- 委員 : 他の体育館ですが、高さ制限がある場所で、地下に下げたのはいいのですが、入梅の時期になったら下が湿気てしまって滑ってしまう。
- 委員 : 現在の建築技術では湿気に関しては可能じゃないですか。
- 事務局 : そうですね。換気設備で対応できます。
- 委員 : ここは多分下が松杭だと思うんです。登記書の公図によるとこの土地は、洪水用の水路が入っており、湿気が多いところなんです。近隣にビルがたくさんでき、地下水が下がり、浮足になって松杭は腐ってくると思われるのですが、それはどうですか。
- 事務局 : 昨年の調査ではそこまでは調査しているわけではないので分かりかねます。

- 委員： 今回の調査の結果は公表するのでしょうか。
- 事務局： はい。
- 委員： 地震規模、大地震、震度6強になっていますが、これは7とか8、大きな地震が来た場合はどのくらいまで被害を被るのか。建物が倒壊するのでしょうか。6強以上になったときのその数値はわかりますか。
- 事務局： 6強であれば倒壊する可能性は低いという目安です。
- 委員： 基本的にここに重要度係数が1.25というのが今の設計ですから、どちらにしても下は補強しなければ駄目です。もし残すにしても。
- 委員： ハードはこのまま残すにしても、下は全部補強しないと駄目だということですね。
- 委員： そのときに、震度6だけど、7までできるかどうか。
- 委員： 例えば下駄をはかせるという感じ。この下にそっくり作ってしまうような。そんな感じでしょうか？もしこれを残すのであれば、1つの方法としては、この敷地内全部下を掘って、運動場の下に持っていくというのも1つの方法ですよ。
- さっき換気が云々と言っていましたが、両端をあければ、太陽、風が入ればいいわけだから、それはクリアできるし、今の技術は、この東京駅を見てもそうですし、地下を利用することは十分できますよね。日本の地層で地下を10階掘ることもできるわけです。それは不可能ではないはずですよ。それがいいか、上にドーンと上げたほうがいいか。その辺は皆さんのご意見ですね。両極端ですけどね。
- 委員： 建物の保存の手法についてというのは参考までにとのことですか。今から協議する内容については、保存ありきみたいな形でのお話ではなく、いろんな可能性をみんなで出し合っということによろしいですね。
- 会長： もちろん白紙で。この中に全面改修の人がいるかもしれないし、保存したほうがいいという人がいるかもしれないけれど、今日の段階ではそれを決めることはまだないと思うんですね。
- 委員： ただはつきりわかっているのは、プールが学校内に必要だ、大きい体育館が必要だと。コンピュータールームだとか、そういった近代的な部屋が必要だとか、何しろ教室が足りないよ。
- 委員： 耐震化の問題については、どういう形であれ最強にするべきです。住民の安心のためにある学校、子どもたちも含めての、校舎を建てようというのだから、そこに不安がある学校なんて建てる必要ないじゃないですか。
- 会長： 今回、九段小学校を改修するのか改築するのかは別として、耐震は完全にやってもらわなければいけないわけです。それについて、現状でどのようにしていったらいいか。現状のままで行くのか。これからもう少し先の話にな

りますが、資料を拝見しますと、廊下にいろんなものが置いてある。今のままでいいのかという話にもなってくる。とにかく外見を残さなければいけないんだという人もいらっしゃるでしょうし、その辺はこれから何回かご意見を聞きながら進めていければと思います。

委員： 私たちは改修を考える会ということでこれまで活動してきました。勉強会や施設見学をしてきたのですが、一般の保護者の方はほとんど知らない状態で、どうやって保護者の意見を集約していくかというのが私たちの課題かなと思っています。保護者の意見とこの活動が乖離していくというのが一番懸念される場所なので、調査の結果を保護者にも説明した上で、1度アンケートみたいな形で保護者の意見を集約する機会を設けていただきたいと思います。

会長： 保護者もそうですが、教職員の先生方の使い勝手というのもありますよね。これは現実に使う人たちが一番大きな問題、我々地域、それからOBの人たちももちろん同じ考えだとは思いますが、今このように動き出しましたよ、現状がこういうものですよと。こういうのはPTAに出してもよろしいのですか。

事務局： はい。

委員： 幼稚園の保護者は、このスケジュールから見ると必ずどこかで改築の不便なときに子どもを九段に通わせなければいけないという状況ですので、できればアンケートとか書面ではなくて、説明会をぜひ保育時間内に開いていただきたいと思っております。

委員： 私はアンケートが一番怖いんです。何もわからないうちに書かなければいけませんから。もっと現実をはっきり、例えば改築するときはどこへ仮校舎を設けられるとか、具体的にそこまで決めないとアンケートは取れない。

そういう工事中に関することをはっきりした上でアンケートを取らないと、在校生のご父兄はまず全部反対でしょう。ご自分の子どもたちがいなくなっ  
てから作ってほしいというのが今までのずっと10年間私が見ている結果です。

委員： それともう1点、不便をかける建て替え期の子どもにこの建て替えがどう還元できるのか、子どもの教育に生かせないかということです。子どもになぜ改修が必要なのか。どういうふうに、バリアフリーでもエコでも防災拠点としてでも、子どもの中で、こういうふうに変えたいなという意見が出てくると、親というのは、そうか、子どもはそんなことまで勉強して学校を変えたいと思っているのかというと建て替え期の不便も我慢できるかなと思っ  
ているので、例えば教育とリンクしたような形でできないだろうかということ  
を考えています。

委員： そういうことを全部終わった後で。アンケートというのはどうも怖いんで

す。実際に関係ないような方たちがアンケートの数字ではっきり出てしまう。ですから、今ご父兄が言ったようなことのほうが大事だと思います。

会 長 : これは個人的な考えですが、先生方、父兄の方、もちろん子どもたちを含めて、こういうところが不便だ、こういうふうにしてほしいということは必要だと思いますし、それを踏まえてどのようにしていくか。現状を維持しながら中を改築するのか、完全に壊して新しくするのか。

ですから、ある面から行けばアンケートも必要かもしれないし、もう少し先に行って必要になってくるかもしれない。ただ、そういうものを皆さんからお聞きするというのは必要だと思います。地域として、同窓生として、先生として、父兄として、それぞれの意見があり、それを集約してうまく事務局のほうで次回に少しずつ反映していただければ。

今日が初めての会議なので、この会議の内容を、幼稚園・小学校のPTAに、何かの機会があれば、伝えていくことも必要だと思います。

委 員 : 会長が言われるように、この資料を初めて拝見させていただいて、いろんな課題が見えてきたと思います。オープンでいろんな方に告知していただければ、その中からまた意見が出てくると思います。

委 員 : 区長が色々な会合の時に、千代田区は金があるから大丈夫だと言っています。それよりも地元の方がどうしたら、子どもさん、先生、卒業生などとずっとつながりが持てるか。出たらおしまいというのであれば、もう必要ないわけです。そうではなくて、東郷小学校時代からの伝統があるわけですから、どうしても地元に着した学校として残していただきたい。でも半分以上の方が、うちの子がいるときだけはあまりいじってもらいたくないというのがここ10年の動きの中では相当見られました。

委 員 : 同窓会にアナウンスをしても良いですか。

委 員 : 基本的に会議そのものは公開でございますので、今日提出させていただいた資料はすべて公開の資料です。会議録につきましては、次回、確認させていただいた段階で、基本的に公開という取り扱いになります。

実際、建築が具体化して、設計に入って、スケジュールが出れば、当然教育委員会のほうから保護者会等でご説明させていただきます。ただ、当面の課題といたしましては、まずこの学校の整備をどういう形でしていくか。それが大きな話で、次のステップとして、設計に入りますので、それと同時並行で仮校舎をどうしようかという話になります。ですから、ここ数年のうちに一連の手続きに入っていくという形でご了解いただければと思います。

今も非常に貴重なご意見をちょうだいしました。先ほど細内会長さんからお話がありましたが、体育館1つとっても基準より小さいわけです。となると、どう考えてもあの場所では入らないわけです。その辺を含めた形で、今

貴重なご意見をちょうだいいたしましたので、次回、9月の上旬ぐらいを予定していますので、その中で、完全なものではありませんが、もう少し議論が深まるような資料を作成させていただいて、この場でお示しさせていただきたいと思います。

委員：この会議の予定というのがここに書いてありますが、今年度何回ということしか出ていないのですが、今お話ししている改修になるかわからないのですが、これは大体いつごろまでというのは具体的に決まっていますか。

委員：まだ具体的には決まっていません。一応今回、粗々のスケジュールということで、年度内5回程度で、少なくとも基本的な方向性までは決めたいと思っています。

委員：工事をいつやり始めるかというのは？

委員：設計に着手すれば、期間というのは決まりますので、例えば全面的に改築するということになれば1年とか1年半、部分改修であれば、それでも1年かかります。学校でするので学期でないと移転ができませんので、仮校舎にするにしても、その節目、節目でスケジュールを立てていきます。

今の段階で申し上げられるのは、最短のペースで25年の当初予算で基本設計費が計上できれば、それが最短のスケジュールになります。

委員：そこから当初予算があった後に、校舎というのは？

委員：通常、設計で1年から1年半かかりますから、そうすると27年度、もしくは仮校舎ということになれば移転を含めて、夏に移転できないと、次は4月になってしまいますよね。長期の休業がないと、短い休業では難しいです。年度単位になりますと27年度。どちらにするにしても、移転なしですることは多分難しいと思います。

委員：改修を考える会の活動をこちらの協議会に移行したほうが良いと思いますがいかがでしょうか。

会長：小学校、幼稚園のPTAが今まで一生懸命やっていたのが正式に動き出したということで皆さんにお話しいただければいいと思います。

委員：仮にアンケートという場合は、区からのアンケートになりますか。

委員：区のほうで直接PTAにアンケートを取ることはありませんが、通常、設計図ができた段階で説明会をやっています。

会長：次回の協議会について事務局のほうで説明してください。

事務局：次回の会議の予定ですが、事務局のほうでは9月3日、月曜日を考えております。

会長：では、今日はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。

以上